

東京農業大学大学院と国際協力機構 (JICA) との連携事業
～長期履修制度を活用した大学院在学中の JICA 海外協力隊参加～

1. 制度の概要

東京農業大学大学院では、長期履修制度を活用し、博士前期 (修士) 課程在学中に JICA 海外協力隊に参加することが可能です。この制度は、本学の知見・人材を有効に活用することにより、開発途上国の農業分野の課題を解決するとともに、大学の国際協力分野における人材育成に資することを目的とし、本学と独立行政法人国際協力機構 (JICA) との連携により 2017 年度より設置されています。

JICA 海外協力隊選考 (2024 年度春募集) と本学大学院入試 (2025 年度 4 月入試 2 期試験) の双方に合格することで、本制度の利用が可能になります。**※海外協力隊 2024 年度秋募集での応募も可能ですが、その場合は、2024 年 8 月末までに応募の意向をグローバル連携センターまでご連絡ください。**

2. 入学前のながれ

※長期履修制度とは

東京農業大学大学院の長期履修制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限 (博士前期課程は 2 年、博士後期課程は 3 年) で修了することが困難な場合に、標準年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合、審査の上、その長期的な履修を認める制度です。学費は標準修業年限分の学費総額相当額を、長期履修期間に応じて分割納入します。

(1) 事前相談

本制度利用を希望する方は、指導教員に相談の上、海外協力隊応募期間 1 ヶ月前までを目途にグローバル連携センターにご連絡ください。また、応募には語学力の証明書提出が必要です。下記 URL を確認し準備してください。<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/language/index.html>

(2) JICA 海外協力隊への応募・選考試験

2024 年度春募集に応募してください。4 月下旬から、JICA ホームページに募集要項が公開されます。一般応募と同じ流れで、オンラインでの応募を行ってください (応募〆切 7/1 正午)。**なお、応募には健康診断書の郵送も必要です (7/1 必着)。診断結果が出るまでの日数を考慮し、余裕を持って受診してください。**

応募の際は、募集要項に掲載されている要請一覧の中から、職種を 1 つ選び、その職種の中から案件を選択してください。希望していた国や職種での募集がない場合や、希望した案件で合格とならない場合がありますのでご注意ください。<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/>

原則、2025 年度 2 次隊での派遣となります。派遣隊次に **2025/2** とあるものを選択してください。**(3 次隊での派遣が可能な場合もありますが、大学院 4 年目の 4 月中～下旬に帰国することが必要となります。)**

【応募者推薦書の作成 (指導教員)】

本制度の利用希望者は、上記オンライン応募に加え、指導教員からの推薦書の提出が必要となります。指導教員に作成を依頼し、**6 月 24 日 (月) までにグローバル連携センターへ提出**してください。

【健康審査について】

日本とは環境や医療事情が大きく異なる地域での生活になるため、海外協力隊の選考では、慎重な健康審査が行われます。その結果、不合格となるケースも少なからずあります。事前に下記 URL をよく確認し、選考に備えてください。<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/long/physicalcheck/index.html>

【JICA 海外協力隊合格発表までの予定】※詳細は JICA 海外協力隊ホームページを確認してください。

応募〆切： 2024 年 7 月 1 日（月）正午

一次合否通知： 2024 年 8 月上旬頃

最終合否通知： 2024 年 10 月 24 日（木）予定

（３）大学院への出願・入学試験

2025 年度 4 月入学 2 期試験への出願が必要です。指導教員と相談の上、出願期間内（2024 年 12月10日（火）～12日（木））に、出願書類として「長期履修申請書」と「長期履修計画書」を提出してください。

なお、出願期間中に長期履修制度の申請がなかった場合、後から制度適用を申請することはできませんので注意してください。

大学院入試に関する詳細は、入試案内ページ (<http://gs.nodai.ac.jp/admission>) で確認してください。また、大学院への出願及び長期履修制度申請に関しては、学務課までお問い合わせください。

2. 入学後のながれ（例）

下表は、入学後のながれの例です。現地赴任前には、70 日程度の派遣前訓練への参加が必要です。現地赴任は、通常、訓練終了日から 1～3 カ月後です。ただし、派遣国、案件ごとに状況は異なりますので、必ず合格通知時の JICA からの案内を確認してください。

	2 次隊で派遣の場合		3 次隊で派遣の場合	
	東京農業大学大学院	海外協力隊	東京農業大学大学院	海外協力隊
1 年 目	4 月 博士前期課程入学		4 月 博士前期課程入学	
	4～8 月 前学期履修		4～8 月 前学期履修	
		8～10 月 派遣前訓練	10～1 月上旬 後学期履修	
		11～1 月頃 出発		
		～協力隊活動開始～		1～3 月 派遣前訓練
2 年 目	※演習指導のための一次 帰国可能性あり	～協力隊活動継続～		4～6 月頃 出発
				～協力隊活動開始～
3 年 目	11～1 月頃 帰国	～協力隊活動継続～ 24 カ月満了後帰国	※演習指導のための一次 帰国可能性あり	～協力隊活動継続～
	帰国後 後学期履修			
4 年 目	4～8 月 前学期履修		4 月中～下旬 帰国	24 カ月満了後帰国
	10～2 月 後学期履修 3 月 博士前期課程修了		4～8 月 前学期履修	
			10～2 月 後学期履修 3 月 博士前期課程修了	

協力隊参加期間中は指導教員と密に連絡を取り、指導教員のアドバイスを現地での活動に生かしてください。また現地での活動内容をもとに「フィールド調査」「インターンシップ」等の単位を認定する場合があります。単位の認定は専攻によって異なるので、指導教員と相談してください。

<問い合わせ先> 東京農業大学グローバル連携センター TEL: 03-5477-2560、

E-MAIL : shogaku@nodai.ac.jp ※件名を「長期履修・協力隊参加（氏名）」としてください。